
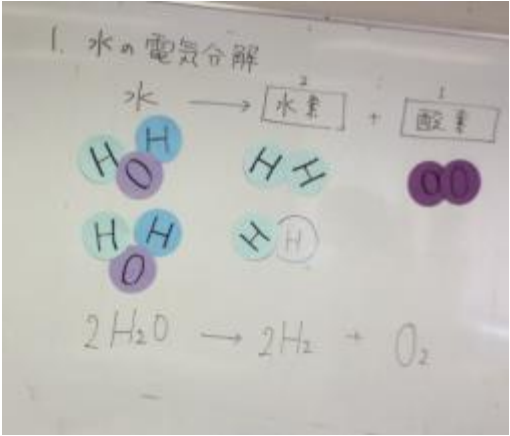





<p>教科</p>	<p>理科(総合)</p>	<p>(教材名) アンモナイトのレプリカを作ろう</p>
		
<p>目的</p>	<p>アンモナイト化石のレプリカを作り、アンモナイトの生きていた時代やアンモナイトの生態を想像する。</p>	
<p>取り組み内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①おゆまる（プラスチック製粘土）を使ってアンモナイト化石の型を取る。 ② 型に石膏を流し込み、固める。 ③ 固まったら、生徒各自のイメージ画をもとに着色する。 	

教科	理科 (総合)	(教材名) ペットボトル水族館を作ろう! ~浮沈子
		
目的	魚型タレ瓶を使った浮沈子を作り、楽しく浮力の原理を学ぶ。	
取り組み内容	<p>① 材料：魚型タレ瓶、六角ナット（タレ瓶の口に合うサイズのもの）、ペットボトル</p> <p>② 魚型タレ瓶とペットボトルは水族館風に油性マジックで描く。</p> <p>② 魚型タレ瓶の中の水の量を尾びれが水面に出て浮くように調整する。</p> <p>③ 水をいっぱいまで入れたペットボトルに③を入れ、ペットボトルのキャップをしめる。</p> <p>⑤ ペットボトルを手で握ったり、離したりして魚型タレ瓶が沈んだり浮いたりするのを観察する。</p>	

<p>教科</p>	<p>理科</p>	<p>(教材名) 分子や化学反応式を原子のモデルで表わそう</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>目的</p>	<p>分子や化学反応を原子のモデルで表し、化学反応のしくみを理解する。</p>	
<p>取り組み内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 市販のシールに必要な原子の記号を書いておく。 ② 板書用には、画用紙で原子モデルを作っておく。 ③ 分子や化学反応を原子モデルを用いて表す。 ④ 市販のカラーシールを用紙に貼ることで、簡単にわかりやすくモデルが描けた。 	

<p>教科</p>	<p>理科 (総合)</p>	<p>(教材名) 草木染め ～媒染液(イオン)のはたらき～</p>
		
<p>目的</p>	<p>中3「化学変化とイオン」の発展的教材。媒染液(金属のイオン)による化学変化でおこる染物の発色の違いを体験する。</p>	
<p>取り組み内容</p>	<p>①ガーゼハンカチ(木綿)に好みの絞り模様になるように輪ゴムで縛る。</p>  <p>②季節の草木(本時は紫蘇を用いた。)を煮だして濃い色液を作り、保温しておく。</p> <p>③好みの発色になる媒染液を選び、色液に加えてガーゼを浸す。</p>  <p>④染まったら、水洗いの後、乾燥させる。</p>	

教科	理科 (総合)	(教材名) 葉脈標本づくり
		
目的	<p>・中1「植物のくらしとなかま」の発展的教材。葉脈を取りだして観察し、植物の分類の手がかりとする。</p>	
取り組み内容	<p>①季節の植物の葉を十分に柔らかくなるまで水酸化ナトリウム水溶液で煮る。(椿やヒイラギなど硬い葉が適している。)</p> <p>②煮た葉は水洗いし、新聞紙の上に広げて歯ブラシで葉肉を丁寧に取り除き、葉脈だけを残す。</p> <p>③できた葉脈標本はラミネートすると保存できる。しおりなどにしてもよい。</p>	

<p>教科</p>	<p>理科 (総合)</p>	<p>(教材名) キラキラオーナメント ～ミョウバンの再結晶～</p>
		
<p>目的</p>	<p>中1「水溶液の性質」の発展的教材。飽和水溶液から温度を下げることで再結晶を取り出す。再結晶のついたモールは、共同作品として季節感の感じられる(本時はクリスマス時期に行った。)掲示物に仕上げる。</p>	
<p>取り組み内容</p>	<p>①モールを好みの形に整形し、糸でつるしておく。</p>  <p>②約70℃の飽和ミョウバン水溶液を作り、形成したモールをつるす。</p>  <p>③再結晶のついたモールは共同作品の掲示物にする。</p>	